

特別プログラム

会長講演

第1会場(国立大ホール) 6月21日(金) 10:00-10:30

座長：齊藤 洋司(島根大学医学部 麻酔科学講座)

WELL LIVING, PEACEFUL REST.....124

東口 高志(藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座)

医療人のための特別企画

第1会場(国立大ホール) 6月21日(金) 16:00-18:20

マザープラネット～戦士の休息～

司会・プロデュース：東口 高志(藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座)

- 1 秋山 豊寛(宇宙飛行士).....125
- 2 中村 幸昭(鳥羽水族館 名誉館長).....126
- 3 松井 守男(画家).....127
- 4 手島 葵(歌手).....128

鼎談1 食べる

第1会場(国立大ホール) 6月21日(金) 10:30-12:00

- 1 食べる.....129
柏木 哲夫(学校法人金城学院 学院長)
- 2 佐藤 初女(森のイスキア 主宰).....130
- 3 食べることに就いて.....131
辰巳 芳子(料理家、作家、良い食材を伝える会 会長)

鼎談2 いきいきと生きるために

第1会場(国立大ホール) 6月21日(金) 14:30-16:00

- 1 日野原 重明(聖路加国際病院 理事長).....132
- 2 高木 慶子(上智大学グリーンケア研究所 特任所長).....133
- 3 宮田 永明(高野山 別格本山 總持院 住職).....134

教育講演1

第1会場(国立大ホール) 6月22日(土) 10:00-11:00

座 長:小川 道雄(市立貝塚病院)

魂の原郷～伊勢神宮のころ～.....135
 小堀 邦夫(神宮禰宜、文化部長兼文教部長(せんぐう館初代館長、神宮研修所所長、他)神宮本庁参与)

教育講演2

第1会場(国立大ホール) 6月22日(土) 11:00-12:00

座 長:東口 高志(藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座)

能動的と待機的.....136
 養老 孟司(解剖学者、東京大学 名誉教授)

教育講演3

第1会場(国立大ホール) 6月22日(土) 15:45-16:45

座 長:小島 操子(聖隷クリストファー大学)

緩和ケアとユーモア.....137
 柏木 哲夫(学校法人金城学院 学院長)

インターナショナルセッション**IS1**

第6会場(会議センター503) 6月21日(金) 14:00-15:00

座 長:大原 寛之(藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座)

カナダ、北米の緩和医療の実践～コンサルテーションの役割と実際～.....140
 樽見 葉子
 (Associate Clinical Professor, Division of Palliative Care Medicine, Department of Oncology,
 University of Alberta, Canada)

IS2

第6会場(会議センター503) 6月22日(土) 10:00-11:00

座 長:恒藤 暁(大阪大学大学院 医学系研究科 緩和医療学寄附講座)

Current status of palliative care on policy and quality management in Korea.....141
 Youn Seon Choi
 (Professor, Department of Family Medicine, Korea University Guro Hospital
 Director, Korea University Guro Hospital Hospice & Palliative Care Center, Korea)

IS3

第6会場(会議センター503) 6月22日(土) 11:00-12:00

座 長:服部 政治(がん研究会有明病院 がん治療支援緩和ケアチーム、麻酔科)

40 years of palliative care in Canada; lessons learned and challenges ahead.....142
 Bernard J. Lapointe
 (Eric M. Flanders Chair of Palliative Medicine, McGill University
 Director, Palliative Care McGill
 Chief, Palliative Care Division, Sir Mortimer B. Davis Jewish General Hospital, Canada)

IS4

第6会場(会議センター503) 6月22日(土) 14:30-15:30

座 長:平井 敏弘(川崎医科大学 消化器外科)

Nutrition and quality of life in cancer patients.....143
 Alessandro Laviano
 (Associate Professor of Medicine, Department of Clinical Medicine, Sapienza University, Italy)

S1

第2会場(会議センターメインホール) 6月21日(金) 8:30-10:00

いきいきと生き、幸せに逝くために

座長：川越 厚(医療法人社団パリアン クリニック川越)
石垣 靖子(北海道医療大学)

- S1-1 幸せに逝くために～最期まで緩和的化学療法を継続した一事例から考える～……………146
太田 智奈美(松本協立病院 呼吸器科)
- S1-2 一般急性期病院でのチーム活動による緩和ケアの取り組み
～拠点病院と緩和ケア病棟の限界を超えて、幸せを提供するために～……………146
岡島 明子(総合上飯田第一病院 外科・緩和科、緩和ケアチーム)
- S1-3 患者の満足、家族の満足を支える在宅緩和ケア～生きる、そして、看取る～……………147
藤本 肇(ふじもと在宅緩和ケアクリニック、防衛医科大学校病院 外科)
- S1-4 基調講演：いきいきと生き、幸せに逝くために……………147
川越 厚(医療法人社団パリアン クリニック川越)

S2

第4会場(会議センター303+304) 6月21日(金) 8:30-10:00

せん妄のケア、マネジメントの進歩と問題点

座長：明智 龍男(名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野)
木下 寛也(独立行政法人国立がん研究センター東病院 緩和医療科)

- S2-1 終末期せん妄の最新の知見……………148
森田 達也(聖隷三方原病院 緩和支援治療科)
- S2-2 がん治療中のせん妄の発症・重症化を予防する効果的な介入プログラムの開発……………148
小川 朝生(国立がん研究センター 東病院 臨床開発センター 精神腫瘍学開発分野)
- S2-3 看護師におけるせん妄ケアの向上を考える……………149
山内 典子(東京女子医科大学病院 看護部)
- S2-4 終末期のせん妄に対するramelteonの有用性に関する検討……………149
上村 恵一(市立札幌病院 精神医療センター)

S3

第2会場(会議センターメインホール) 6月21日(金) 10:30-12:00

癒し環境を提供するための工夫

座長：林 章敏(聖路加国際病院 緩和ケア科)
長谷川 美栄子(医療法人東札幌病院 看護部)

- S3-1 基調講演：癒し環境を提供するための工夫……………150
林 章敏(聖路加国際病院 緩和ケア科)
- S3-2 五感に注ぎ、人によってつなぐ癒しの環境……………150
遠藤 佳子(東札幌病院 東3階病棟)
- S3-3 STAS-J導入による診療所看護師意識の変化と、看護師自身の癒し効果……………151
渡邊 美華(社会医療法人 大和会 在宅サポートセンター 村山大和診療所)
- S3-4 臨床心理士による無菌室入室患者への面接の取り組み……………151
丸山 加奈(公益財団法人 日本生命済生会付属日生病院 緩和ケアチーム、神経科・精神科)

災害と緩和ケア～東日本大震災から学ぶ～

座長：中川 恵一（東京大学医学部附属病院 放射線科、緩和ケア診療部）
清水 わか子（君津中央病院 放射線治療科）

- S4-1 基調講演：東日本大震災と緩和医療～放射線のものさしの構築に向けて～……………152
中川 恵一（東京大学医学部附属病院 放射線科、緩和ケア診療部）
- S4-2 基調講演：災害と緩和ケア～東日本大震災から学ぶ～……………152
高橋 千秋（参議院議員）
- S4-3 災害時の緩和ケアにおける検討課題～東日本大震災におけるDMAT活動JMAT活動を通じて～……………153
岩田 充永（藤田保健衛生大学 救急総合内科）
- S4-4 東日本大震災 次に生かす……………153
村上 雅彦（岩手県立大船渡病院 緩和ケアチーム）
- S4-5 そこに居続けること～緩和ケアが被災地に寄り添った日々～……………154
儀賀 理暁
（岩手県民とともに歩む緩和ケアの仲間の会、埼玉医科大学総合医療センター 緩和ケア推進室、呼吸器外科）

全人的医療の実践を目指した取り組み

座長：堀 夏樹（NTT東日本関東病院 緩和ケア科）
濱本 千春（YMCA訪問看護ステーション・ピース）

- S5-1 複雑性悲嘆を抱える可能性が高い家族へのアプローチの検討……………154
中尾 正寿（NTT東日本関東病院 精神神経科病棟）
- S5-2 死の受容に寄り添う全人的医療を支える補完代替療法を目指して……………155
遠藤 光史（帯津三敬病院、東京医科大学 外科学第3講座）
- S5-3 精神科病院における緩和ケア～地方精神科病院の取り組み～……………155
國枝 良行（特定医療法人 浩洋会 田中病院 緩和医療・精神腫瘍部）
- S5-4 緩和ケア病棟において、不十分な病状理解・短い入院日数・高齢は、
全人的苦痛を過小評価する予測因子である……………156
金井 良晃（東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部、東京医科大学 精神医学講座）

緩和ケアNST(栄養サポートチーム)の役割

座長：合田 文則（香川大学医学部附属病院 腫瘍センター PCT NST）
三村 卓司（社会医療法人 緑社会 金田病院 外科）

- S6-1 基調講演：緩和ケアにおける栄養の考え方と多職種の間取り……………156
合田 文則（香川大学医学部附属病院 腫瘍センター PCT NST）
- S6-2 終末期がん患者に対する「輸液栄養」ならびに「食」に関するアプローチ……………157
中島 信久（医療法人 東札幌病院 緩和ケア科）
- S6-3 緩和医療におけるNSTと消化器外科医のあり方……………157
片山 寛次（福井大学 医学部 附属病院 がん 腫瘍病態治療学教室）
- S6-4 終末期がん患者に対する栄養療法～症状・機能改善補助食品「インナーパワー」の効果～……………158
大原 寛之（藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座）
- S6-5 終末期がん患者におけるトランスサイレチン測定の有用性……………158
阿波 宏子（藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座）

S7
コミュニティ(相補的支援環境)の構築に向けて

第2会場(会議センターメインホール) 6月22日(土) 8:30-10:15

座 長: 家田 秀明(名古屋掖済会病院 緩和医療科)
安藤 詳子(名古屋大学大学院医学系研究科 看護学専攻)

- S7-1 基調講演: がん患者サロンの普及と医療者の役割.....159
安藤 詳子(名古屋大学大学院医学系研究科 看護学専攻)
- S7-2 当院緩和ケア病棟における「お茶会」への取り組み.....159
橋本 勝利(藤田保健衛生大学 七栗サナトリウム 看護部)
- S7-3 “がんカフェ”(地域がんサロン)を試みて.....160
高世 秀仁(社会福祉法人信愛報恩会 信愛病院、スマイルケア)
- S7-4 ピアサポーターによる患者サロン～医療者の役割～.....160
井上 実穂(独立行政法人 国立病院機構 四国がんセンター)
- S7-5 岩手医科大学における相補的支援環境としての「がん患者・家族サロン」の役割.....161
木村 祐輔(岩手医科大学 外科学講座 緩和ケアチーム、腫瘍センター緩和ケアチーム)

S8
非がん患者に対する緩和ケア

第3会場(会議センター301+302) 6月22日(土) 8:30-10:15

座 長: 江口 研二(帝京大学医学部 内科学講座 腫瘍内科)
荻野 美恵子(北里大学 医学部神経内科学)

- S8-1 基調講演: 非がん患者に対する緩和ケア.....161
荻野 美恵子(北里大学 医学部神経内科学)
- S8-2 非がん緩和ケアチームの立ち上げと活動状況および有用性.....162
村瀬 樹太郎(川崎市立井田病院 かわさき総合ケアセンター 緩和ケア内科)
- S8-3 非がん患者に対する緩和ケア～ End-Of-Life Care Team : The First Year Audit in Japan ～.....162
西川 満則(国立長寿医療研究センター)
- S8-4 小児専門病院における非がん疾患の緩和ケア.....163
天野 功二(静岡県立こども病院 緩和ケアチーム、聖隷三方原病院 臨床検査科)
- S8-5 在宅での非がん患者の緩和医療における予後の予測～在宅療養支援診療所医師への調査から～.....163
斎藤 信也(岡山大学 大学院 保健学研究科)
- S8-6 間質性肺炎終末期呼吸困難に対する塩酸モルヒネ持続注射の有用性の検討.....164
松田 能宣(国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター 支持・緩和療法チーム、心療内科)

S9
腫瘍学における緩和ケア

第2会場(会議センターメインホール) 6月22日(土) 10:15-12:00

座 長: 佐藤 温(弘前大学大学院医学研究科 腫瘍内科学講座)
内布 敦子(兵庫県立大学看護学部)

- S9-1 積極的癌治療終了後の生存期間は、緩和医療を受ける場所によって異なるか？
～婦人科癌患者181人の生存解析から～.....164
梶山 広明(名古屋大学大学院医学系研究科 産婦人科)
- S9-2 「あなたがEGFR遺伝子変異陽性進行非小細胞肺癌であったらEGFRチロシナーゼ阻害剤と
化学療法どちらを選びますか？」患者・医療者に対する多施設ビネット調査(LOGIK0903).....165
赤嶺 晋治(大分県立病院 呼吸器外科)
- S9-3 進行再発消化器癌における化学療法から緩和ケアへの移行のタイミング
～PPI、COUNT、PNIを用いた客観的評価は有用か～.....165
福島 剛(市立千歳市民病院 外科、緩和ケアチーム)
- S9-4 肺癌患者における皮下埋め込み型中心静脈アクセスデバイス(CVポート)留置による緩和ケアの導入.....166
津森 鉄平(大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 緩和ケア科)

S9-5	がん薬物標準治療の適応があるにも関わらず当院緩和ケア科を紹介された症例の検討……………166 平山 泰生（東札幌病院 血液腫瘍科）
S9-6	分子標的療法の施行歴がホスピスの入院後の早期死亡に与える影響についての検討……………167 赤司 雅子（救世軍 清瀬病院 ホスピス緩和ケア科）

S10

第2会場(会議センターメインホール) 6月22日(土) 14:30-16:30

緩和ケアで結ぶ地域連携

座 長：佐藤 英俊（佐賀大学医学部附属病院 地域包括緩和ケア科）
田村 里子（東札幌病院 MSW課）

S10-1	都道府県がん診療連携拠点病院における地域医療者支援・在宅療養支援を重視した緩和ケア病床設立の意義……………167 駒澤 伸泰（兵庫県立がんセンター 麻酔科・緩和ケア内科）
S10-2	緩和ケア病棟における救急患者受け入れの実践と運営方法の検討……………168 佐藤 健（国立病院機構豊橋医療センター 外科）
S10-3	在宅緩和ケア地域連携パスの評価……………168 澤田 幸一郎（富山県済生会高岡病院 外科）
S10-4	ICTを活用した在宅緩和ケアと退院後モニタリング・ケア・カンファレンスについて……………169 石川 哲大（尾道総合病院 緩和ケアチーム）
S10-5	がん地域連携ワークショップin名寄を開催して～北海道名寄市の地域連携の課題抽出と解決策の探索～……………169 堀井 一樹（名寄市立総合病院 看護部）
S10-6	緩和ケアで結ぶ地域連携～MSWの立場から～……………170 橘 直子（総合病院山口赤十字病院 地域医療推進課）
S10-7	退院時カンファレンスの重要性～退院初日から安心して過ごせる環境を整えるために～……………170 藤堂 延昭（らいふ薬局 川副店）

パネルディスカッション

PD1

第1会場(国立大ホール) 6月21日(金) 8:30-10:00

悪液質を制御する

座 長：田村 洋一郎（足利赤十字病院 緩和ケア内科）
乾 明夫（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 社会・行動医学講座 心身内科学分野）

PD1-1	がん悪液質の予防、症状緩和に向けた薬物療法の開発……………172 上園 保仁（国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野）
PD1-2	癌悪液質の診断と治療：筋肉量とCRPの重要性……………172 山田 岳史（日本医科大学 消化器外科）
PD1-3	がん悪液質における脂質代謝の検討～脂肪乳剤投与とトリグリセリド値から～……………173 森 直治（藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座）
PD1-4	悪液質を制御する～臨床心理学的展開の可能性を探る～……………173 服巻 豊（鹿児島大学大学院 臨床心理学研究科）

PD2
スピリチュアルペイン再考

第5会場(会議センター501+502) 6月21日(金) 8:30-10:00

座 長： 柏木 雄次郎(関西福祉科学大学 社会福祉学部臨床心理学科)
河 正子(NPO法人緩和ケアサポートグループ)

- PD2-1 認知行動療法の要素を取り入れたスピリチュアルケア～百分率による気持ちのつらさの外在化について～……174
金子 和彦(岡谷市病院事業 岡谷塩嶺病院 緩和ケア科)
- PD2-2 緩和ケア病棟における宗教家の活動の現状についての質的研究……174
村瀬 正光(藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座)
- PD2-3 Spiritual Pain Assessment Sheetの意義とケアの方向性……175
田村 恵子(淀川キリスト教病院 看護部)
- PD2-4 スピリチュアルペインの「言葉」……175
伊藤 高章(桃山学院大学 社会福祉学科)

PD3
診療報酬改正が変えたもの

第5会場(会議センター501+502) 6月21日(金) 10:30-12:00

座 長： 服部 政治(がん研究会有明病院 がん治療支援緩和ケアチーム、麻酔科)
加藤 雅志(国立がん研究センター がん対策情報センターがん医療支援研究部)

- PD3-1 基調講演：平成24年度診療報酬改定とこれから……176
森 桂(厚生労働省保険局医療課)
- PD3-2 2012年度の診療報酬改定の功罪～緩和ケア病棟の立場から～……176
岩田 尚士(医療法人社団曙会シムラ病院)
- PD3-3 当院の在宅緩和ケアにおける医療費の検討……177
石黒 要(富山県済生会高岡病院 緩和ケア委員会)
- PD3-4 在宅領域における診療報酬改定のインパクト……177
川越 正平(あおぞら診療所)

PD4
在宅移行を考える

第5会場(会議センター501+502) 6月21日(金) 14:00-16:00

座 長： 山崎 章郎(ケアタウン小平クリニック)
関本 雅子(医療法人社団関本クリニック)

- PD4-1 基調講演：医療政策のパラダイム転換と柏プロジェクト……178
辻 哲夫(東京大学高齢社会総合研究機構)
- PD4-2 家族構成の違いによる死亡前1ヶ月での療養場所の変化……178
大塚 正友(近畿大学 医学部 堺病院 緩和ケア科)
- PD4-3 在宅緩和ケア患者の終末期緊急入院の原因と在宅看取り例との比較検討
～家族のスピリチュアルペインを解決することの重要性について考える～……179
佐藤 将之(川崎市立井田病院 かわさき総合ケアセンター)
- PD4-4 緩和ケア病棟入院患者の入院理由等から見た在宅移行への問題点……179
金子 和彦(岡谷市病院事業 岡谷塩嶺病院 緩和ケア病棟)
- PD4-5 一般訪問看護ステーションの在宅緩和ケアにおける在宅看取り率に関する検討……180
笹尾 佐喜美(ひばり訪問看護ステーション)
- PD4-6 もっと早く帰せないのか?～穏やかな家での療養の準備に必要なもの～……180
藤本 肇(ふじもと在宅緩和ケアクリニック、防衛医科大学校病院 外科)

End of life を考える～日本人と和の心～

座長： 大下 大圓(飛騨千光寺、京都大学大学院医学研究科)
若村 智子(京都大学大学院医学研究科人間健康科学専攻)

- PD5-1 基調講演：「End of life を考える-日本人と和の心」～日本人のいのち観とholistic-medicine～……181
大下 大圓(飛騨千光寺、京都大学大学院医学研究科)
- PD5-2 日本人の心性とがん終末期……181
長谷川 聡(医療法人社団白美会 白根大通病院 ホスピス)
- PD5-3 地域の中から学ぶこと……182
高橋 美保(ホームケアクリニック えん)
- PD5-4 日本のチャプレンとしての臨床宗教師とその課題……182
谷山 洋三(東北大学大学院 文学研究科)

制御困難な疼痛の原因追究とその対策

座長： 細川 豊史(京都府立医科大学 疼痛緩和医療学講座)
月山 淑(和歌山県立医科大学附属病院 腫瘍センター緩和ケア部門)

- PD6-1 フェンタニルPCA大量投与症例の麻薬減量……183
花田 留美(公益財団法人日本生命済生会付属日生病院 麻酔・緩和医療科、緩和ケアチーム)
- PD6-2 広範囲に及ぶ疼痛に対するコンビネーション神経ブロックの経験……183
増田 亨(桑名西医療センター外科)
- PD6-3 難治性胸背部がん性痛に対してポート埋め込み持続も膜下モルヒネ投与鎮痛法が有用であった1症例……184
波多野 貴彦(京都府立医科大学 疼痛緩和医療学講座)
- PD6-4 痛みの原因が不明だったために、症状緩和の対応に苦慮したPancoast腫瘍の1例……184
栗山 俊之(和歌山県立医科大学 腫瘍センター緩和ケアチーム)
- PD6-5 制御の難しい痛みと判断する前に……185
徳山 洋子(社会医療法人岡本病院(財団) 第二岡本総合病院 薬剤部)

政治と緩和医療～医療政策に期待すること～

座長： 松岡 順治(岡山大学病院 緩和支援医療科)
飯島 正平(公立学校共済組合 近畿中央病院)

- PD7-1 基調講演：医療政策から期待される緩和医療……186
後藤田 正純(衆議院議員)
- PD7-2 基調講演：日本の緩和医療の将来像と医療政策の方向性……187
飯島 正平(公立学校共済組合 近畿中央病院)
- PD7-3 緩和医療と高齢者医療……187
橋本 俊明(株式会社メッセージ)
- PD7-4 日本の医療者による政策提言の限界と可能性……188
樽見 葉子
(Associate Clinical Professor, Division of Palliative Care Medicine, Department of Oncology,
University of Alberta, Canada)

座 長： 蘆野 吉和(青森県立中央病院 緩和医療科)
秋山 正子(株式会社ケアーズ 白十字訪問看護ステーション)

PD8-1	地方のがん専門病院における後期高齢者の緩和ケア	188
	齋藤 義之(新潟県立がんセンター新潟病院 緩和ケア科)	
PD8-2	高齢がん患者の看取り経験から感じること	189
	笹川 優美(JA静岡厚生連 清水厚生病院 緩和ケアチーム)	
PD8-3	独居高齢癌患者、認知症患者を自宅で見取る	189
	杉本 由佳(すぎもと在宅医療クリニック)	
PD8-4	高齢者の緩和ケア～最期までその人らしく生活することを支えるために～	190
	吉村 純彦(十和田市立中央病院 総合診療科)	
PD8-5	当診療所から訪問診療を受けた独居生活者57人の解析	190
	姫野 美穂子(社会医療法人 大和会 在宅サポートセンター 村山大和診療所)	
PD8-6	多死社会に向けた京都府での多職種、地域連携の試み	191
	荒金 英樹(愛生会山科病院 外科)	
PD8-7	高齢者の緩和ケアの動向	191
	平原 佐斗司(東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所 在宅サポートセンター)	

ワークショップ

座 長： 大野 智(早稲田大学 先端科学・健康医療融合研究機構)
浦崎 優子(藤田保健衛生大学病院 看護部 緩和ケア病棟)

WS1-1	臨死期における音楽療法の実態と意義	194
	福原 敬(札幌厚生病院 緩和ケア内科)	
WS1-2	音楽療法の現況と展望	194
	新倉 晶子(日本赤十字社 医療センター 緩和ケア科)	
WS1-3	「整膚」の実際と緩和ケア病棟における活動	195
	早川 貴子(NPO法人整膚美肌褥瘡予防協会)	
WS1-4	緩和ケアにおける新しい看護援助法としてのアロママッサージの可能性	195
	相原 由花(ホリスティックケアプロフェッショナルスクール、関西医科大学心療内科学講座、 兵庫県立大学大学院看護研究科博士後期課程治療看護学専攻)	
WS1-5	がん緩和医療に活用される漢方薬	196
	今津 嘉宏(芝大門いまづクリニック)	
WS1-6	補完代替医療・統合医療と緩和医療	196
	小俣 浩(埼玉医科大学 東洋医学センター)	

卒前教育の確立に向かって

座長： 高宮 有介(昭和大学医学部 医学教育推進室)
伊藤 彰博(藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座)

- WS2-1 全国の医学部における緩和ケア教育の実態調査……………197
高宮 有介(昭和大学 医学部、大学病院の緩和ケアを考える会 教育部会)
- WS2-2 本学における臨床腫瘍学分野新設と緩和医療学の卒前・卒後教育の確立……………197
三宅 智(東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 臨床腫瘍学分野、東京医科歯科大学医学部附属病院 腫瘍センター)
- WS2-3 卒前教育：島根大学の取り組み……………198
齊藤 洋司(島根大学医学部 麻酔科学講座)
- WS2-4 医学部・医科大学における緩和ケア教育 Overviewとカリキュラムの開発……………198
木澤 義之(神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 先端緩和医療学分野)
- WS2-5 系統だった緩和医療講義の実践と今後の課題……………199
丹波 嘉一郎(自治医科大学附属病院 緩和ケア部)

患者、家族の否認、怒りを理解するための必須コミュニケーション

座長： 内富 庸介(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 生体制御学専攻)
大庭 章(群馬県立がんセンター 精神腫瘍科・総合相談支援センター)

- WS3-1 基調講演：患者・家族とのコミュニケーション～セッションを始めるにあたって～……………199
大庭 章(群馬県立がんセンター 精神腫瘍科・総合相談支援センター)
- WS3-2 精神的妄想が強く治療継続困難となったが、多職種チームの協働で軽快した否認の1症例……………200
堀木 優志(市立伊丹病院 緩和ケアチーム)
- WS3-3 本人の意思を尊重する医療者と、方針が異なる家族が対立し、対応に難渋した一例……………200
相木 佐代(大阪市立総合医療センター 緩和医療科)
- WS3-4 「怒り」に対応するコミュニケーション……………201
小室 龍太郎(国立病院機構 金沢医療センター 精神科・緩和ケアチーム)
- WS3-5 アンガーマネジメントのすすめ：患者、家族の怒りに対応するための自分自身の怒りの理解とコントロール……………201
大瀬 克広(社会医療法人聖医会 サザン・リージョン病院 麻酔科 緩和ケア病棟)

卒後教育の果たす役割

座長： 木澤 義之(神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 先端緩和医療学分野)
橋口 さおり(慶應義塾大学医学部麻酔学教室 腫瘍センター 緩和医療部門)

- WS4-1 当院での緩和ケア研修会への受講状況 研修医の参加は有益であろうか……………202
郷右近 祐司(岩手県立 胆沢病院)
- WS4-2 緩和医療の卒後教育について
～藤田保健衛生大学病院におけるPEACE-プログラムによる卒後教育の取り組み～……………202
佐々木 ひと美(藤田保健衛生大学医学部 泌尿器科)
- WS4-3 緩和ケア研修会の質的向上を目指したPEACE指導者スキルアップ研修会～目的、意義、成果と課題～……………203
佐藤 哲観(弘前大学医学部附属病院 麻酔科 緩和ケア診療室)
- WS4-4 専門科医師への緩和ケア卒後教育
～小児科医のための小児緩和ケア教育プログラム「CLIC」の経験を通じて～……………203
永山 淳(国家公務員共済組合連合会浜の町病院 緩和医療科)
- WS4-5 緩和ケア医を志す若手医師の教育・研修に関連したニーズ：質的研究の結果から……………204
西 智弘(川崎市立井田病院 かわさき総合ケアセンター)
- WS4-6 緩和ケアの卒後教育におけるホスピス・緩和ケア病棟の役割……………204
安保 博文(国家公務員共済組合連合会 六甲病院緩和ケア科)

WS5

第3会場(会議センター301+302) 6月21日(金) 14:00-15:30

緩和ケア病棟の現状と将来像

座長：佐藤 健(国立病院機構豊橋医療センター 外科・緩和ケア)
荒尾 晴恵(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)

- WS5-1 基調講演：ホスピス・緩和ケア病棟の歴史、現在、未来を見つめ、当院での実践を振り返る……………205
佐藤 健(国立病院機構豊橋医療センター 外科・緩和ケア)
- WS5-2 「ホスピス機能を有する急性期緩和ケア病棟」への模索……………205
伊藤 浩明(岐阜県立多治見病院 緩和ケア病棟)
- WS5-3 緩和ケア病床入院状況の変遷……………206
月山 淑(和歌山県立医科大学附属病院 腫瘍センター)
- WS5-4 当院緩和ケア病棟の現状と今後の展望……………206
久保 周(医療法人財団健和会 みさと健和病院 緩和ケア科)
- WS5-5 当院緩和ケア病棟の現状と課題……………207
伊藤 彰博(藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座)
- WS5-6 当院緩和ケア病棟の現況・特性と将来像……………207
小池 和彦(医療法人 東札幌病院)

WS6

第4会場(会議センター303+304) 6月21日(金) 14:00-15:30

意思決定を支えるためのチーム医療

座長：浅井 篤(熊本大学大学院生命科学研究部 生命倫理学分野)
梅田 恵(株式会社緩和ケアパートナーズ)

- WS6-1 基調講演：意思決定を支えるためのチーム医療……………208
梅田 恵(株式会社緩和ケアパートナーズ)
- WS6-2 がん診療連携拠点病院でのピアサポートの実際と課題……………208
丹原 弘子(NPO法人がんサポーターネットワーク)
- WS6-3 意思決定における緩和ケアチームの役割……………209
海津 未希子(東京大学医学部附属病院 看護部)
- WS6-4 治療の意思決定を支える薬剤師の情報提供……………209
川口 崇(東京薬科大学 医療実務薬学教室)
- WS6-5 倫理コンサルテーションチームによる意思決定支援の意義……………210
竹下 啓(北里大学 北里研究所病院 総合内科)

WS7

第3会場(会議センター301+302) 6月21日(金) 15:30-17:00

緩和ケアチームの光と影

座長：小山 富美子(近畿大学医学部附属病院)
恒藤 暁(大阪大学大学院 医学系研究科 緩和医療学寄附講座)

- WS7-1 緩和ケアチーム診療における病棟密着型サブチーム結成の成果……………210
高山 敬子(東京女子医科大学病院 緩和ケアチーム)
- WS7-2 当院における緩和ケアの認知度と質の向上を目指して～緩和ケアチームの積極的な回診への取り組み～……………211
平野 知子(日本医科大学 千葉北総病院 緩和ケアチーム)
- WS7-3 患者の症状緩和と主治医の価値観の狭間における緩和ケアチームの葛藤……………211
國末 充央(財団法人 倉敷中央病院 総合診療科)
- WS7-4 アウトリーチと地域連携バスを用いた緩和ケアチーム活動の在宅移行の影響……………212
雨宮 陽子(富山県済生会高岡病院 緩和ケアチーム)

WS7-5	がん治療サポートチームの活動評価～遺族及び職員アンケート調査の結果から～212
	西森 亜貴 (KKR高松病院 がん治療サポートチーム)
WS7-6	当院における成人緩和ケアチームと小児緩和ケアチームの比較検討213
	多田羅 竜平 (大阪市立総合医療センター 緩和医療科兼小児総合診療科)

WS8

第4会場(会議センター303+304) 6月21日(金) 15:30-17:00

患者・家族からみた緩和ケア

座 長： 西村 幸祐 (岐阜中央病院 緩和ケア科)
栗原 幸江 (がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科)

WS8-1	基調講演：患者・家族の立場から緩和ケアを考える213
	前川 育 (NPO法人 周南いのちを考える会)
WS8-2	患者家族から見た緩和ケア～病院で患者と家族の声を聴くソーシャルワーカーの立場から～214
	田村 里子 (東札幌病院 MSW課)
WS8-3	在宅緩和ケアに関わる立場から214
	宇野 さつき (医療法人社団 新国内科医院)
WS8-4	外来やPCTの活動を通じて「患者家族」「オンコロジスト」の声を聞く緩和ケア医の立場から215
	石原 辰彦 (岡山済生会総合病院 緩和ケア科)

WS9

第5会場(会議センター501+502) 6月21日(金) 16:00-17:00

死の生理学に関するEvidence

座 長：宮下 光令 (東北大学大学院医学系研究科 保健学専攻緩和ケア看護学分野)
佐藤 哲観 (弘前大学医学部附属病院 麻酔科 緩和ケア診療室)

WS9-1	終末期がん患者にみられる二次性貧血の病態215
	山際 健太郎 (三重県立志摩病院 緩和ケア科、診療所「つ在宅ケア」)
WS9-2	「死」を迎えた患者さんに医療スタッフのできる事～科学的側面と人間的側面のはざままで～216
	上園 保仁 (国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野)
WS9-3	摂食調節と死216
	乾 明夫 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 心身内科学)

WS10

第4会場(会議センター303+304) 6月22日(土) 8:30-9:30

ガイドラインから学ぶ：がん患者の消化器症状の緩和

座 長：中島 信久 (医療法人 東札幌病院 緩和ケア科)

WS10-1	消化器症状ガイドラインの概要と嘔気嘔吐の薬物療法217
	久永 貴之 (筑波メディカルセンター病院 緩和医療科)
WS10-2	悪性消化管閉塞に対する薬物療法について217
	濱 卓至 (大阪府立病院機構大阪府立成人病センター 心療・緩和科/緩和ケアチーム)
WS10-3	消化器症状緩和に関するガイドラインと消化器外科医の役割218
	片山 寛次 (福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター)
WS10-4	ガイドラインをケアに活かそう！～看護師の立場から～218
	宇野 さつき (医療法人社団 新国内科医院)

WS11
看取りの質を評価する

第5会場(会議センター501+502) 6月22日(土) 8:30-10:15

座長：茅根 義和(株式会社東芝 東芝病院 緩和ケア科)
二見 典子(ピースハウス病院)

- WS11-1 基調講演：看取りの質を評価する～看取りのバスは看取りの質評価に寄与できるのか～……………219
茅根 義和(株式会社東芝 東芝病院 緩和ケア科)
- WS11-2 腹部急変で迎えた看取りに関する検討……………219
村上 真基(新生病院)
- WS11-3 看取りのケアの質を遺族・看護師の視点から評価する尺度の開発……………220
宮下 光令(東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野)
- WS11-4 遺族調査の再考：遺族のためのサポートグループの経験を通して……………220
広瀬 寛子(戸田中央総合病院 看護カウンセリング室)
- WS11-5 LCP日本語版普及活動から見えてきた看取りのバスに対する医療者のニーズ
～LCP日本語版ワークショップのアンケート結果から～……………221
茅根 義和(株式会社東芝 東芝病院 緩和ケア科、LCP日本語版普及グループ)
- WS11-6 「看取りの質」が死別後の悲嘆に及ぼす影響……………221
坂口 幸弘(関西学院大学 人間福祉学部)

WS12
新しい薬物療法とその評価

第8会場(会議センター311+312) 6月22日(土) 8:30-10:00

座長：加賀谷 肇(明治薬科大学 臨床薬剤学教室)
塩川 満(総合病院 聖隷浜松病院 薬剤部)

- WS12-1 基調講演：緩和薬物療法の新たな潮流を考える……………222
加賀谷 肇(明治薬科大学 臨床薬剤学教室)
- WS12-2 当院緩和ケア病棟におけるオキファスト注の使用経験……………222
高橋 大賀(医療法人潤和会 札幌ひばりが丘病院 緩和ケア科)
- WS12-3 がん疼痛に対するオキファスト注投与の先行麻薬に対する換算比の検討……………223
川原 玲子(公益財団法人日本生命済生会付属日生病院 麻酔・緩和医療科、緩和ケアチーム)
- WS12-4 メサドン塩酸塩錠の治験概要……………223
関根 龍一(亀田総合病院 疼痛・緩和ケア科)
- WS12-5 高用量メサドンで十分な鎮痛が得られずクモ膜下ポートにて疼痛管理した使用経験……………224
前田 倫(西宮市立中央病院 麻酔科・ペインクリニック科、大阪大学医学部附属病院 疼痛医療センター)

ガイドラインから学ぶ:がん患者の呼吸器症状の緩和

座 長: 田中 桂子 (がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科)

- WS13-1 ガイドラインの概要と本ワークショップの目的～ガイドライン作成の立ち場から～.....224
田中 桂子 (がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科)
- WS13-2 呼吸困難の原因病態に対する治療～呼吸器内科医の立場から～.....225
竹下 啓 (北里大学北里研究所病院 呼吸器内科・総合内科)
- WS13-3 呼吸困難に対する薬物療法～緩和ケア医の立場から～.....225
坂下 明大 (神戸大学医学部附属病院 腫瘍センター 緩和ケアチーム)
- WS13-4 呼吸困難に対する非薬物療法～看護師の立場から～.....226
宗定 水奈子 (がん・感染症センター都立駒込病院 看護部)

PEGをとりまく諸問題～幸せなPEGを行なうために～

座 長: 長尾 和宏 (長尾クリニック)
森 直治 (藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座)

- WS14-1 基調講演: PEGをとりまく諸問題～幸せなPEGを行なうために～.....226
長尾 和宏 (長尾クリニック)
- WS14-2 胃ろう患者の家族へのアンケート調査.....227
中瀬 一 (北杜市立甲陽病院 外科)
- WS14-3 がん緩和ケアにおけるQOL改善を目指すPEG.....227
児玉 佳之 (社会医療法人社団カレスサポロ 時計台記念病院 消化器センター・緩和ケア内科)
- WS14-4 緩和医療における胃瘻造設適応とは?～胃瘻のチャンスを公平に～.....228
日下部 明彦 (みらい在宅クリニック)
- WS14-5 在宅緩和ケアにおける胃瘻の役割.....228
吉澤 明孝 (要町病院・要町ホームケアクリニック)
- WS14-6 『胃瘻の導入、中止をめぐる』～日本老年医学会の立場表明ならびにガイドラインを通して～.....229
葛谷 雅文 (名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学)

ガイドラインから学ぶ:苦痛緩和のための鎮静

座長:池永 昌之(淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院)

- WS15-1 さまざまな現場における苦痛緩和のための鎮静……………229
池永 昌之(淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院)
- WS15-2 その鎮静、いったい誰のため?何のため?
患者家族間・家族内での不一致に対してどう関わるか、を考える……………230
家田 秀明(名古屋掖済会病院 緩和医療科)
- WS15-3 当院緩和ケアチームにおける鎮静の現状と鎮静ガイドラインに対する今後の課題……………230
須賀 昭彦(静岡済生会総合病院 緩和医療科)
- WS15-4 鎮静ガイドラインを、在宅医の立場から見直してみた……………231
新城 拓也(しんじょう医院)

ガイドラインから学ぶ:がん疼痛の薬物療法、患者・家族のためのがん疼痛治療

座長:余宮 きのみ(埼玉県立がんセンター 緩和ケア科)

- WS16-1 オピオイドを使いこなすために～オピオイドによる副作用への対応～……………231
奥山 慎一郎(山形大学医学部附属病院 疼痛緩和医療部・緩和ケアチーム)
- WS16-2 患者・家族に理解してもらおうオピオイドの副作用と対策……………232
岡本 禎晃(市立芦屋病院)
- WS16-3 患者・家族の生活や人生を考慮したがん性疼痛治療と患者教……………232
林 冨り子(一般財団法人同友会 藤沢湘南台病院 看護部)
- WS16-4 がん疼痛マネジメントにおける評価の重要性……………233
中西 京子(旭川医科大学病院 緩和ケア診療部)

ホスピスの原点に立ち返る

座長:井上 聡(聖隷三方原病院 ホスピス科)

田村 恵子(淀川キリスト教病院 看護部)

- WS17-1 聖ヨハネホスピスが大切にしているホスピスケアの原点……………233
大井 裕子(聖ヨハネ会桜町病院 聖ヨハネホスピス)
- WS17-2 傍らに添うものとしてのありようを問う……………234
柏谷 優子(東京医科大学病院 緩和医療部)
- WS17-3 ホスピスのこころを深め、スピリチュアルケアへ……………234
前野 宏(札幌医療生活協同組合 ホームケアクリニック札幌)
- WS17-4 歴史的源流としてのホスピスとは……………235
志真 泰夫(筑波メディカルセンター病院 緩和医療科)

ガイドラインから学ぶ:終末期がん患者の輸液療法

座 長:二村 昭彦(藤田保健衛生大学七栗サナトリウム 薬剤課)

- WS18-1 溢水症状を伴う終末期がん患者に対する「輸液ガイドライン」に基づいた輸液治療の効果……………235
中島 信久(医療法人 東札幌病院 緩和ケア科)
- WS18-2 輸液のガイドライン～心理・看護面のケアのポイント～……………236
長谷川 久巳(国家公務員共済組合連合会虎の門病院)
- WS18-3 ガイドラインから学ぶ終末期がん患者の輸液療法……………236
飯島 正平(公立学校共済組合 近畿中央病院)

フォーラム

リハビリテーションフォーラム～リハビリテーションにおけるコミュニケーションの重要性～

座 長:岡村 仁(広島大学大学院医歯薬保健学研究院)

- F1-1 終末期リハビリにかかわるPT意識調査……………238
田村 茂(地域リハビリ支援室・タムラ)
- F1-2 言葉の力……………238
栗原 幸江(がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科)
- F1-3 非言語的コミュニケーション……………239
安部 能成(千葉県立保健医療大学 健康科学部 リハビリテーション学科)
- F1-4 緩和ケア病棟におけるリハスタッフのコミュニケーションについて……………239
太田 喜久夫(藤田保健衛生大学医療科学部 リハビリテーション学科)

看護師フォーラム

座 長:田村 恵子(淀川キリスト教病院 看護部)
小山 富美子(近畿大学医学部附属病院)

- F2-1 一般病院での緩和ケアの実践……………240
村木 明美(済生会松阪総合病院 看護部)
- F2-2 チーム力と看護力、一体感のある緩和ケアを目指して～緩和ケアの看護の魅力と困難～……………240
高橋 紀子(独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター)
- F2-3 緩和ケアにおける看護の魅力と困難～ホスピスの現場から～……………241
福田 かおり(社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院 聖隷三方原病院ホスピス)
- F2-4 病院以外の地域での緩和ケアにおける看護の魅力と困難さについて……………241
濱本 千春(YMCA訪問看護ステーション・ピース)

座長：高宮 有介(昭和大学医学部 医学教育推進室)
齋藤 真理(横浜市立大学附属市民総合医療センター 化学療法・緩和ケア部)

- F3-1 大学病院の緩和ケアを考える会 診療に関するアンケート調査報告
～大学病院における緩和ケアの取り組みと課題～……………242
中村 陽一(大学病院の緩和ケアを考える会 教育部会、東邦大学医療センター大橋病院)
- F3-2 弘前大学医学部附属病院における緩和ケア活動の経緯と特色……………242
佐藤 哲観(弘前大学医学部附属病院 麻酔科 緩和ケア診療室)
- F3-3 大学病院で緩和ケアを推進するための方略……………243
飯嶋 哲也(山梨大学医学部附属病院医療チームセンター 緩和ケアチーム 麻酔科)
- F3-4 大学病院は何を担うのか……………243
齊藤 洋司(島根大学医学部 麻酔科学講座)
- F3-5 藤田保健衛生大学病院における緩和ケア……………244
森 直治(藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座)

座長：橋口 さおり(慶應義塾大学医学部 麻酔学教室腫瘍センター 緩和医療部門)

- F4-1 専門医制度概要……………244
橋口 さおり(慶應義塾大学医学部 麻酔学教室腫瘍センター 緩和医療部門)
- F4-2 専門医試験 申請書・症例報告書の書き方……………245
坂下 明大(神戸大学医学部附属病院 腫瘍センター 緩和ケアチーム)
- F4-3 専門医試験 筆記試験について……………245
岡田 雅邦(八木内科医院)
- F4-4 専門医試験 口頭試験について……………246
大坂 巖(静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科)
- F4-5 専門医フォーラム 当学会専門医試験を受けて……………246
関根 龍一(亀田総合病院 疼痛・緩和ケア科)

座長：田村 里子(東札幌病院 MSW課)

- F5-1 緩和ケアチームにおけるソーシャルワーク実践……………247
浅野 正友輝(藤田保健衛生大学病院 医療連携福祉相談部)
- F5-2 今こそ！MSWが緩和ケアチームの力を地域へつなぐ……………247
太田 桂子(島根大学医学部附属病院 地域医療連携センター)
- F5-3 大学病院におけるがん相談支援体制づくり……………248
品田 雄市(東京医科大学病院 総合相談・支援センター)

緩和ケアチームフォーラム

主 催：専門的・横断的緩和ケア推進委員会
 委 員 長：橋爪 隆弘（はしづめクリニック）
 副委員長：小山 富美子（近畿大学医学部附属病院）

緩和ケアチーム登録（平成24年度）速報 緩和ケアチーム活動の手引き 第2版発表

2012年度チーム登録の報告	249
橋爪 隆弘（はしづめクリニック）	
手引き改定版の開設	249
1. コンサルテーションとは	
小川 朝生（独立行政法人国立がん研究センター東病院 臨床開発センター精神腫瘍学開発部）	
2. チームの立ち上げ方・チーム責任者の役割	
吉本 鉄介（社会保険中京病院 緩和ケアチーム）	
3. 各職種の役割 身体症状担当医師	
濱 卓至（大阪府立病院機構大阪府立成人病センター 心療・緩和科／緩和ケアチーム）	
4. 各職種の役割 精神症状担当医師	
小川 朝生（独立行政法人国立がん研究センター東病院 臨床開発センター精神腫瘍学開発部）	
5. 各職種の役割 看護師	
中村 喜美子（三重大学医学部附属病院 看護部）	
6. 各職種の役割 薬剤師	
小宮 幸子（横浜市立大学附属病院 薬剤部）	
7. 各職種の役割 MSW	
福地 智巴（静岡県立静岡がんセンター よろず相談）	
8. 各職種の役割 リハビリ	
安部 能成（千葉県立保健医療大学健康科学部 リハビリテーション学科）	

学会企画

学会企画

第8会場(会議センター311+312) 6月22日(土) 14:30-16:30

第3回ELNEC-J指導者交流集会2013

企画運営：日本緩和医療学会 教育・研修委員会 ELNEC-J WPG
 司 会：梅田 恵（ELNEC-J指導者、株式会社緩和ケアパートナーズ）

講 師：酒井 禎子（ELNEC-J指導者、新潟県立看護大学）	252
清水 佐智子（ELNEC-J指導者、鹿児島大学）	252

関連企画

関連企画1

討論会場(会議センター213) 6月21日(金) 10:00-12:00

構造構成医療研究会 第3回討論会

座 長：岡本 拓也（洞爺温泉病院 緩和ケア病棟）

1 はじめに	254
岡本 拓也（洞爺温泉病院 緩和ケア病棟）	
2 構造構成的痛み論～構造構成主義の紹介を兼ねて～	254
阿部 泰之（旭川医科大学病院 緩和ケア診療部）	
3 緩和医療領域における信念対立解明アプローチ研究と実践の可能性	254
京極 真（吉備国際大学大学院 保健科学研究科）	

第18回日本緩和医療学会学術大会・NPO法人キャンサーリボンズ共催フォーラム

6月21日は、がん支えあいの日～生きることは、自分を表現すること～

開会挨拶 東口 高志(第18回日本緩和医療学会学術大会 大会長).....255

対談 自分らしさを装う
 コシノジュンコ(ファッションデザイナー)
 岡山 慶子(NPO法人キャンサーリボンズ副理事長).....255

講演 自分らしさを支える～痛みとQOL調査から見てきたもの～
 横山 智央(厚生中央病院、呼吸器・腫瘍内科医長、外来化学療法センター).....255

朗読 自分を語る・言葉を紡ぐ
 青木 裕子(軽井沢朗読館、元NHKアナウンサー).....255

座 長: 太田 恵一朗(湘南鎌倉総合病院 オンコロジーセンター 湘南鎌倉がんセンター)

今後行うべきCART(腹水濾過濃縮再静注法)の実際!

～改良型CARTの効果を明らかにするための前向き試験実施に向けて～.....256
 松崎 圭祐(要町病院 腹水治療センター)

厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発事業(オレンジバルーンプロジェクト)

企画運営: 日本緩和医療学会 委託事業委員会 緩和ケア普及啓発WPG

座 長: 濱 卓至(大阪府立病院機構大阪府立成人病センター 心療・緩和科/緩和ケアチーム)

加藤 雅志(国立がん研究センターがん対策情報センター がん医療支援研究部)

1 緩和ケア普及啓発事業のあり方検討会(ワールド・カフェ)報告.....256

1-1 緩和ケア普及啓発事業のあり方検討会で出た具体的な計画案
 酒見 惇子(大阪府立成人病センター 緩和ケアチーム)

1-2 計画案の実現に向けての課題
 塩川 満(総合病院 聖隷浜松病院 薬剤部)

2 今年度の緩和ケア普及啓発事業の展開.....256

2-1 緩和ケア普及啓発における課題
 橘 直子(総合病院 山口赤十字病院 医療社会事業部)

2-2 緩和ケア普及啓発事業の戦略
 平井 啓(大阪大学 大型教育研究プロジェクト支援室)

キャンサーネットジャパン

NPO法人キャンサーネットジャパン・Over Cancer Together 共催

Cancer Survivorship 啓発と支援のために

1 Cancer Survivorshipと、新しいがん啓発のありかたについて.....257
 川上 祥子(NPO法人キャンサーネットジャパン)

2 メディアの立場から～局を挙げたがんへの取り組みJump Over Cancer～.....257
 橋本 佐与子(MBS: 毎日放送)

3 企業の取り組み～CSR活動としての「MAEMUKI駅伝」～.....257
 アメリカンホーム保険会社

4 サバイバーの立場から～悪性リンパ腫を体験して～.....257
 遠山 麻蔭(シンガー) *遠山さんのミニライブもお届けします。

5 Cancer Survivorship啓発の諸外国の状況と、今後の取り組みについて.....257
 國村 三樹(NPO法人日本医療政策機構 Over Cancer Together 推進事務局)

特別企画1

第6会場(会議センター503) 6月21日(金) 15:00-15:45

座長：渡辺 正(東海中央病院)

緩和ケアにおける免疫療法を考える..... 260
 加藤 洋一(新横浜かとうクリニック)

特別企画2

第7会場(会議センター211+212) 6月22日(土) 8:30-10:00

東海がんプロの緩和領域への取り組み

座長：渡辺 正(東海中央病院)

1 藤田保健衛生大学における緩和ケア卒前・卒後教育..... 260
 森 直治(藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座)

2 キャンパス型緩和デイケアの実践活動..... 261
 阿部 まゆみ(名古屋大学大学院医学系研究科 看護学専攻)

3 早期からの緩和ケア：外来化学療法と併行する緩和ケアの取り組みについて..... 261
 杉下 美保子(名古屋大学大学院医学系研究科 化学療法学)

特別企画3

第7会場(会議センター211+212) 6月22日(土) 10:00-11:00

サイコオンコロジー入門

座長：大西 秀樹(埼玉医科大学国際医療センター 精神腫瘍科)
 内富 庸介(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 生体制御科学専攻)

1 がん患者・家族との良好なコミュニケーションのために..... 262
 明智 龍男(名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野)

2 がん患者のせん妄..... 262
 松島 英介(東京医科歯科大学大学院 心療・緩和医療学分野)

3 不眠 意外に対応に困る症状..... 263
 小川 朝生(国立がん研究センター東病院臨床開発センター 精神腫瘍学開発分野)

特別企画4

第7会場(会議センター211+212) 6月22日(土) 14:30-15:30

藤田保健衛生大学緩和ケア討論 第一教育病院(本院)vs. 第三教育病院(七栗サナトリウム)

座長：森 直治(藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座)
 伊藤 彰博(藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座)

討論者：藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座..... 263

第一教育病院

医師：森 直治、村瀬正光、水野聡己、阿波宏子、岩田正己、看護師：浦崎優子、近藤千恵、薬剤師：牧原俊康、
 管理栄養士：木戸志奈子、MSW：浅野正友輝

第三教育病院

医師：伊藤彰博、大原寛之、都築則正、中川理子、看護師：菊川栄子、橋本勝利、薬剤師：上葛義浩、
 管理栄養士：堀内 薫、MSW：下村 康氏

1. 病院、緩和ケア病棟の概要
2. 緩和ケア病棟相互ラウンド
3. 症例検討
4. 家族・遺族ケア
5. 教育

座 長: 加藤 雅志 (国立がん研究センター がん対策情報センターがん医療支援研究部)

緩和医療におけるIVR.....	264
荒井 保明 (国立がん研究センター中央病院 放射線診断科)	

緩和医療に携わる女性のライフデザインを考える

座 長: 有賀 悦子 (帝京大学医学部 緩和医療学講座)
合田 由紀子 (市立札幌病院 緩和ケア内科)

1 緩和ケア病棟勤務とワークライフバランス.....	264
星野 信子 (公益財団法人東京都保健医療公社 豊島病院)	
2 「イクメン」も夢じゃない!?～十日間の育休体験より～.....	265
森 雅紀 (聖隷浜松病院 緩和医療科)	
3 流れの中でワークバランスを選択していく.....	265
松原 貴子 (市立伊勢総合病院 麻酔科・緩和ケアチーム)	
4 3病棟の緩和ケア病棟に勤務して～各施設の診療体制に基づいたライフデザインの工夫～.....	266
村井 美代 (済生会松阪総合病院 緩和医療科)	

ランチョンセミナー 6月21日(金)

共催: 株式会社大塚製薬工場

座 長: 細川 豊史 (京都府立医科大学 疼痛緩和医療学講座)

終末期の栄養管理 / ランダムイズド・コントロール・スタディの結果報告.....	268
岩瀬 哲 (東京大学医科学研究所附属病院 緩和医療科)	

共催: 塩野義製薬株式会社

座 長: 東口 高志 (藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座)

The challenges of relieving cancer pain in 2013.....	268
Bernard J. Lapointe (Eric M. Flanders Chair of Palliative Medicine, McGill University Director, Palliative Care McGill Chief, Palliative Care Division, Sir Mortimer B. Davis Jewish General Hospital, Canada)	

共催: ノバルティス ファーマ株式会社

座 長: 堀 夏樹 (NTT東日本関東病院 緩和ケア科)

悪性消化管閉塞に対する治療戦略～手術から薬物治療まで～.....	269
片山 寛次 (福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター)	

共催: 協和発酵バイオ株式会社

座 長: 青木 和恵 (静岡県立静岡がんセンター)

緩和ケアにおける褥瘡対策～最新の情報～.....	269
真田 弘美 (東京大学大学院医学系研究科 老年看護学/創傷看護学)	

LS5	第5会場(会議センター501+502) 6月21日(金) 12:30-13:30
	共催：大日本住友製薬株式会社 座長：樋口 比登実 (昭和大学医学部 内科学講座 緩和医療科)
オピオイドを使いこなす～レスキュー再考～	270
橋口 さおり (慶應義塾大学 医学部麻酔学教室腫瘍センター 緩和医療部門)	
LS6	第6会場(会議センター503) 6月21日(金) 12:30-13:30
	共催：株式会社ツムラ 座長：乾 明夫 (鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 心身内科学分野)
漢方薬の緩和医療への展開	270
川原 玲子 (公益財団法人日本生命済生会付属日生病院 麻酔・緩和医療科)	
LS7	第8会場(会議センター311+312) 6月21日(金) 12:30-13:30
	共催：イーエヌ大塚製薬株式会社 座長：向山 仁 (横浜市立みなと赤十字病院 歯科口腔外科)
がん治療を支える口腔の感染症対策	271
岩淵 博史 (独立行政法人国立病院機構栃木病院 歯科・歯科口腔外科・小児歯科)	
LS8	第10会場(会議センター411+412) 6月21日(金) 12:30-13:30
	共催：日本新薬株式会社 座長：大坂 巖 (静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科)
患者がもつめる早期からの緩和ケア～最近の話題～	271
久永 貴之 (筑波メディカルセンター病院 緩和医療科)	
LS9	第11会場(会議センター414+415) 6月21日(金) 12:30-13:30
	共催：株式会社 ジェイ・エム・エス 座長：太田 恵一朗 (湘南鎌倉総合病院 オンコロジーセンター 湘南鎌倉がんセンター)
チーム医療による輸液管理の重要性～緩和ケアNST活動の実際～	272
二村 昭彦 (藤田保健衛生大学七栗サナトリウム 薬剤課)	
LS10	第12会場(会議センター416+417) 6月21日(金) 12:30-13:30
	共催：協和発酵キリン株式会社/久光製薬株式会社 座長：谷水 正人 (独立行政法人国立病院機構四国がんセンター)
消化器がん化学療法と緩和医療	272
室 圭 (愛知県がんセンター中央病院 薬物療法部)	
LS11	第13会場(会議センター418) 6月21日(金) 12:30-13:30
幸せな最後(とき)のために～PTEGキット(経皮経食道胃管挿入用キット)の緩和医療への適応～	
	共催：住友ベークライト株式会社 座長：倉 敏郎 (町立長沼病院) コメンテーター：末永 仁 (医療法人懔慈会 日立港病院)
1 緩和から生まれたPTEG	273
大石 英人 (東京女子医科大学 八千代医療センター 外科診療部 消化器外科)	
2 PTEG造設でQOLが向上した患者の看護	273
田久保 由実 (東京女子医科大学八千代医療センター)	

LS12

第14会場(会議センター419) 6月21日(金) 12:30-13:30

共催:株式会社クリニコ

座 長:小川 朝生(独立行政法人 国立がん研究センター東病院 精神腫瘍学開発部)

緩和医療とリハビリテーション栄養.....274

若林 秀隆(横浜市立大学附属市民総合医療センター リハビリテーション科)

ランチョンセミナー 6月22日(土)

LS1

第1会場(国立大ホール) 6月22日(土) 12:30-13:30

共催:帝國製薬株式会社/テルモ株式会社

座 長:下山 直人(東京慈恵会医科大学 麻酔学講座 緩和ケア室)

新規オピオイド メサドン塩酸塩~本邦での適正使用に向けて~

1 関根 龍一(鉄蕉会亀田総合病院 疼痛・緩和ケア科).....276

2 山口 重樹(獨協医科大学医学部 麻酔科学講座).....276

LS2

第2会場(会議センターメインホール) 6月22日(土) 12:30-13:30

共催:ネスレ日本株式会社 ネスレヘルスサイエンスカンパニー

座 長:東口 高志(藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座)

生きることと 食べること~緩和ケアの実践をとおして~.....277

石垣 靖子(北海道医療大学)

LS3

第3会場(会議センター301+302) 6月22日(土) 12:30-13:30

共催:ニプロ株式会社

座 長:乾 明夫(鹿児島大学大学院 歯学総合研究科 心身内科学分野)

終末期がん患者におけるRapid Turnover Protein測定の有用性.....277

二村 昭彦(藤田保健衛生大学七栗サナトリウム 薬剤課)

LS4

第4会場(会議センター303+304) 6月22日(土) 12:30-13:30

共催:ヤンセンファーマ株式会社

座 長:的場 元弘(国立がん研究センター中央病院 緩和医療科)

患者の視点に立ったがん疼痛治療.....278

余宮 きのみ(埼玉県立がんセンター 緩和ケア科)

LS5

第5会場(会議センター501+502) 6月22日(土) 12:30-13:30

共催:ファイザー株式会社/エーザイ株式会社

座 長:松岡 順治(岡山大学病院 緩和支援医療科)

再発とともに生きる~乳癌の場合~.....278

中村 清吾(昭和大学医学部外科学講座 乳腺外科学部門)

LS6

第6会場(会議センター503) 6月22日(土) 12:30-13:30

共催:アボットジャパン株式会社

座 長:竹山 廣光(名古屋市立大学大学院 消化器外科学)

Nutritional and metabolic therapy for cancer patients with cachexia.....279

Alessandro Laviano

(Associate Professor of Medicine, Department of Clinical Medicine, Sapienza University, Italy)

LS7

第8会場(会議センター311+312) 6月22日(土) 12:30-13:30

共催:イーエヌ大塚製薬株式会社

座長:池永 昌之(淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院)

緩和医療における栄養療法～だんだんと食べられなくなっていく中で「すべきこと」「できること」～……………279

中島 信久(医療法人 東札幌病院 緩和ケア科)

LS8

第11会場(会議センター414+415) 6月22日(土) 12:30-13:30

共催:田辺三菱製薬株式会社

座長:加賀谷 肇(明治薬科大学 臨床薬理学教室)

1 モルヒネの臨床薬理1・2・3……………280

川村 和美(シップヘルスケアファーマシー東日本 教育研修部)

2 がん疼痛におけるモルヒネ製剤の使い方……………280

服部 政治(がん研究会有明病院 がん治療支援緩和ケアチーム、麻酔科)

LS9

第12会場(会議センター416+417) 6月22日(土) 12:30-13:30

共催:小野薬品工業株式会社

座長:江口 研二(帝京大学医学部 内科学講座 腫瘍内科)

がん治療中の支持療法の重要性～悪心嘔吐からがん悪液質治療～……………281

高山 浩一(九州大学大学院 呼吸器内科学分野)

LS10

第13会場(会議センター418) 6月22日(土) 12:30-13:30

共催:昭和薬品化工株式会社

座長:恒藤 暁(大阪大学大学院医学系研究科 緩和医療学寄附講座)

外来における意思決定支援～診断時からの緩和ケア～……………281

木澤 義之(神戸大学大学院医学研究科 内科系講座・先端緩和医療学分野)

LS11

第14会場(会議センター419) 6月22日(土) 12:30-13:30

共催:株式会社東京技研

座長:加藤 亜沙代(聖隷三方原病院 看護部)

看護・歯科連携で行う口腔ケア……………282

大野 友久(聖隷三方原病院 歯科)